



松本秋則／アキノリウム in OMACHI

大町温泉郷内「旧酒の博物館」にて絶賛公開中

Photo by Shimpei Shimokawa

北アルプスの伏流水と良質な米で地酒を作る信濃大町。昔の酒づくりに使われた大きな酒樽や道具、全国の清酒を展示していた「酒の博物館」が、作品の舞台として期間限定でリニューアルされる。

影絵や竹を素材としたサウンドオブジェを創作する作家が、信濃大町の自然をテーマに、雪の中の杉林、水が滴る池などの原風景を表現する。風の流れを捉えて動き続けるサウンドオブジェからは素朴な竹音が響き、時間とともに絶えず変化する空間によって、一期一会の世界が体験できる。

展示場所：旧酒の博物館（大町温泉郷内）

開館日：4～11月・2月の土日祝日

開館時間：10:00～16:00

入館料：300円（中学生以下無料）

※大町温泉郷に宿泊する方については各ホテルのフロントに無料の入場券があります。

作家：松本 秋則（まつもと あきのり）

1951年埼玉生まれ／神奈川県在住。主に竹を素材としおたサウンドオブジェを創作し、自動演奏によるサウンド・インスタレーションを展開。現在は美術・音楽・演劇などと融合した”アキノリウム”を試みている。

お問い合わせ先：大町温泉郷観光協会 TEL:0261-22-3038